

べんちたいむ 第40号

発行日 令和4年8月8日

～ベンチタイムとは おいしいパンを作る為に欠かせない
パン生地のお休み時間のことです。～

☆☆☆ 1 ☆☆☆
編集元 特定非営利活動法人ゆづるは (旧: パン工房こすも)
816-0912 大野城市御笠川5丁目3-7-7号室2F
TEL/092-558-4826 FAX/092-558-4825
E-Mail: npoyuduruha@lilac.plala.or.jp

編集者 **梶川菜美子**
監修 **阿部 哲宏**



災害により、被害を受けられたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。
新型コロナウイルスの終息、一日も早く安寧の日々が戻りますように心より願います。

🌍新しい風を吹き込む、変化の年が始まっています🌍

毎月、全国各地の郷土料理・名物が飛び出す「こすもの給食」、今回は日本を飛び出し韓国のメニューが登場！
今回は、スンドゥブチゲ、キムチのトマト和え、マグロの韓国風サラダ。デザートにホットクもついてました。

8月はなんとエジプト料理が登場！**新しい風が給食にも吹いています！**

キムチとトマトがベストマッチ！

メニューを見た訓練生たちも「エジプトですか!？」と

びっくりしたり興味津々な様子だったりリアクションが様々です。

今後はどの国・どの地方のメニューが、飛び出すのか楽しみです！

訓練生からは「〇〇県の〇〇という料理が食べてみたい」という

リクエストも職員の方へ、猛烈アピールがありうれしくもありながらも実現可能か予算とにらめっこしています。

また、食べたことない料理のリクエストにも、期待に応える栄養士や調理員さんにはいつも驚かされます。

そして、真夏のような猛暑が続く6月に提供された、冷やしぶっかけ温玉うどんと梅しらすご飯にスイカ🍉

さらに7月の土用丑の日は、ひつまぶしご飯🍱！細かく刻んだ鰻と1切れの鰻(国産)大切に味わいました🍴



新しい風が吹き、広報誌の編集者及び監修が変わります！

17年間、広報誌の記事作りからレイアウト、監修までを行ってきましたが、新しい風を吹き込みより一層楽しい広報誌づくりを行うために、若い職員に編集を任せることとなりました。

長年、松尾イズム満載の広報誌を勝手にお届けして参りましたことお詫び申し上げます(*- -)(* _ _)
今後は、新しい地域サービスの開拓や新規事業への挑戦を行うことに専念したいと考えています。
これからも、NPO法人ゆづるはの活動を応援してください！！

理事長 松尾 敦子

ホームページを訪問してください、ゆづるはの活動内容をご覧ください。
コツコツとバージョンアップ中です。
ホームページアドレス：<https://www.workstyle-cosmo.com>



令和4年9月13日に太宰府特別支援学校で講座を行います！

コロナ禍により、NPO法人の地域貢献活動が行えなくなり、3年目となっていますが昨年より、地域の特別支援学校の父兄へ向けた講座を行っています。

昨年のテーマは、「在学中に子供のためにできる事」でした。
今年度は、「教えて！分からない事！！」と題し、障がい年金を含む障がいのある方とお金について親亡き後の兄弟との関係、思春期における異性との関係（性教育）についてが主なテーマとなります。

尽きない親の悩みにどこまで寄り添えるか、一生懸命頑張ります！！
また、今年度の後半には公開講座の再開を検討しておりますので、是非ホームページでご確認の上ふるってご参加ください。 ホームページアドレス：<https://www.workstyle-cosmo.com>
お急ぎの方は、上記ホームページアドレスからご相談を行う事も出来ます、お気軽にどうぞ！！

ご存知ですか？災害時避難行動要支援者制度

先日、大野城市障がい者施設（団体連絡）協議会にて、大野城市の危機管理課の方が出前講座を行いました。
内容は「災害時避難行動要支援者制度」についてです。聞き慣れない制度ですが、災害発生時に障害を持った人や一人暮らしのお年寄りや小さなお子さんが居る家庭など、災害時支援を必要とする人達を自治会や自主防災組織、民生委員・児童委員や隣近所の人達が避難所への誘導や安否確認、救出救助などを行って助けていこうという制度です。

昔から言われる、遠い親戚よりも近くの他人が災害時には一番頼りになるとの事です、
向こう三軒両隣を再度、構築していく事をお勧めいたしますと講師の方が繰り返し話されていました。

～・～・～もしもの時に備える 缶詰ランプを実践してみました～・～・～ ポイントは「油漬け」です！

ある日の朝礼で防災の話題で紹介された「ツナ缶ランプ」、知っていたもののやったことが無かった為、早速ネット検索、「防災ニッポン」というサイトを発見、アレンジしながら実践してみました。

サイトでは缶の中央に缶切りを用いて穴をあける方法を紹介されていましたが、「まずやってみよう！」ということでフタを開けた状態でチャレンジしてみました。大成功です！！

※フタを開けた方法は「すぐに調理・食事出来る」のやり方ですので、すぐに調理をしない場合はサイトを参考にしてください。

ツナをはじめとした油漬けの缶詰を使用される際は、一度調理の前に試してみたいはいかがでしょうか。
参考サイト：防災ニッポン ツナ缶ランプ <http://www.bousai.yomiuri.co.jp/article/1105>



オイルサーディンも
ランプに大変身👏



「わあっー火事だー！」 「火を消せ！」 消火器体験やりました。

消火訓練やる気満々！！

夏真っ盛りの日、消火器体験をしました。災害、火災時の避難訓練などは行っていましたが、消火器は沢山あるけど、火が出た時に使えるのかな?? 訓練生の皆さんに尋ねると「できません!」「小学校の時にやったけど覚えてません」という答えでした。では!という事でさっそく消防署から水式消火器を借りてきて全員で体験しました。



「火事だ--!」の号令で消化開始



あっという間に鎮火! (パネル倒れる) さすがです



女性の火消し隊、お上手です

職員もやりましたが、へっぴり腰気味で消火器対決は見事訓練生に軍配が上がりました。実際に火事が起こるのは困りますが、万が一の時の心強い消火隊員が沢山いました!!!

消火器体験は暑さも納まるだろうと4時過ぎに行いましたが駐車場は照り返しもあって35度を超えた暑さでしたが。

消火器から出る水の勢いが強く、大きく的を外してしまう方や消火器の持ち上げ方に戸惑う方など色々「もっと下ー」「右、みぎー」の声援が飛び交い経験者のS君やN君の、あっという間の的当てに「すごーい」「うまいね~」と拍手喝采! 暑さを忘れる賑やかな体験会となりました。

非常食といえば「乾パン」はもう古い?! 「缶パン」を食べました!

災害時非常食を試食しました!

いざという時のために・・・と用意していても中々、食べることがない「災害時非常食」ですが大野城市の出前講座に参加した時におみやげにいただきました。

今回いただいたものは「缶にはいったパン」で「缶パン」! ?昔は非常食と言えば乾パンでしたが、今はカップケーキのようなパンが2個入っており、味もすごく良くフワフワでした。

さらに、レトルトパウチに入ったサバの味噌煮と煮込みハンバーグ男子はハンバーグが好きなようでしたが、女子はサバの味噌煮に軍配が上がりました!



とても、非常食と思えない美味しさにびっくりでした!

会員・賛助会員及び、応援してくださった方々

R3年.11.1 ~ R4.7.31 (以下順不同・敬称略)

- | | | | |
|----------|----------------|------------|--------|
| ・荒木玲子 | ・鹿毛万裕美 | ・塚本大佑 | ・松尾政則 |
| ・松坂徹也弁護士 | ・博多ロータリークラブ | ・二ノ宮啓 | ・松尾佐和子 |
| ・重野和代 | ・鈴木裕美子 | ・二ノ宮直子 | ・志岐玲子 |
| ・大久保光教 | ・東野直子 | ・はらだ進学塾 | ・財前順子 |
| ・(株) 共立 | ・田中久子 | ・鹿毛博多 | ・永利光弥 |
| ・林 敏一 | ・吉田道子 | ・鹿毛水由希 | ・阿部初代 |
| ・林 加代子 | ・(株)三友アンブレラ | ・有) 進藤運輸倉庫 | ・阿部哲宏 |
| ・塚本寿子 | ・(有)イーデザインショップ | ・M&M | ・平澤昌樹 |
| ・高倉佳依子 | ・(株)アルカン | ・大坪鮮魚店 | ・一条工務店 |
| ・川野直美 | ・白水義之 | ・梶川菜美子 | ・岡本誠 |

☆空き缶をください☆ 空き缶は訓練生の仕事になります。宜しくお願いします！
 (アルミ缶) いつも匿名で空き缶を運んでくださる皆様ありがとうございます。

たくさんの方々のご支援とご協力ありがとうございました

♪ 賛助会員になってゆづるはの活動に協力してください ♪

☆賛助会員 個人様 1口 1,000円 団体(企業)様 1口 3,000円
 郵便振替口座 01740-3-61735 加入者名 トクヒ) ユヅルハ

〜〜〜 編集後記 〜〜〜

初めて広報紙の編集を担当させていただくことになりました。

今号では、主に食についての話題の記事を書かせていただきました。

缶詰ランプで使用したツナ缶は、体験後に常備菜の「人参しりしり」へと変身しました。

最近、アルミパウチ入りのツナを使用していたので、缶を開ける時は怪我をしないかヒヤヒヤ

しましたが取り越し苦労に終わりました、これを機にもっと缶詰を生活に取り入れようと決めました。

また次号でお会いしましょう☺

N・K



〜〜〜 監修後記 〜〜〜

コロナ前は休日となれば、アウトドア派とまではいきませんが家にいないで出歩くことが日課というか当たり前の私でしたがコロナ禍となり、そうはいかずに悶々とする休日が続いていたある日、理事長から「活けてみたら!」と渡されたボケの花と白い小菊

さっそく持ち帰り苦心惨憺して生け花完成、自分なりに納得のものができました。それ以降、自宅の庭や娘宅の庭、スーパーの花コーナーを覗いた時に気に入ったものがあれば、活けて玄関や床の間に置いています。余計なことを考えずに集中できるし、家の中が明るくなりリフレッシュできる休日となっています。勝手ながら私のお勧めです。 T・A

